

古紙のリサイクルにご協力をお願いします

青森県のリサイクル率（平成26年度）は13.5%（全国47位）で全国平均と比べて7.1ポイント低くなっています。また、1人1日当たりの資源化量の種類ごとの比較では紙類の資源化量が全国平均の約7割で、紙類の資源化量が低いことがわかっています（資源化できる古紙類が可燃ごみとして出されているということ）。リサイクル量を品目別にみると、特に新聞、雑誌、ダンボール、雑がみ（菓子箱、ティッシュ箱、紙袋等）などの古紙が全国平均の約7割しかリサイクルされていない状況で、リサイクル率の向上には古紙の分別を徹底することが重要です（参考「1人1日当たりの紙類リサイクル量：青森県62g、全国平均93g」（平成25年度））。

◇雑がみ類（雑誌・雑がみ類）の分別のポイント

●雑誌・雑がみ類

- ・雑誌、書籍、冊子類→表紙が紙製でなくても中身が紙製であればそのままOK
（例）週刊誌、単行本、文庫本、漫画雑誌、写真誌、辞書、百科事典、手帳、カタログ、ダイレクトメール、住宅地図、電話帳、ノートなど
- ・紙袋、封筒、紙製ファイル→紙袋は取っ手付きもOK。紙製ファイルは中身が紙類ならファイルごとでOK
- ・包装紙、紙箱（（例）食品や製品の外箱など）
- ・そのほかにも、（例）カレンダーや日めくりの紙、メモ用紙、トイレトペーパーの芯など

※雑誌・雑がみ類として出せない紙（「燃やせるごみ」になります）

汚れた紙、シール、写真、感熱紙、カーボン紙、内側がアルミ箔の紙、においの強い紙

●「雑誌・雑がみ類」専用のごみ箱を置こう！

日常生活を見直してみると、ティッシュ箱や菓子箱、はがきや封筒など「雑がみ」は意外と多いことに気づくはず。 「雑誌・雑がみ」専用のごみ箱を置いて古紙の分別を進めて行きましょう！

小さな紙切れが多い雑がみは紙袋にまとめ、回収の際に中身が散乱しないよう紙ひもで束ねましょう



☆古紙リサイクルセンターをご利用ください（※各町内会の集団回収や各地区の収集もご利用ください）

紙ごみの資源化をさらに促進するため、一般家庭や事業所からの古紙をいつでも無料で受け入れることのできる古紙リサイクルセンターを設置しておりますので、お気軽にご利用ください。

- 鶴田町古紙リサイクルセンター：（有）西北クリーン営業所（鶴田町大字菖蒲川字前田142-3）
TEL：0173（22）2011 午前8時から午後4時まで（12月31日から1月3日を除く）

鶴田町の職員を募集します

町では、平成28年度職員採用試験（上級）を次のとおり行います。

- 職 種 ①行政 ②土木 ③建築
- 採用予定数 それぞれ若干名
- 採用予定日 平成29年4月1日
- 受験資格
大学卒業以上の学歴を有する（平成29年3月卒業見込者を含む）、昭和62年4月2日以降の出生者
- 試験日
1次試験は平成28年7月24日（日）。2次試験は9月中を予定。
- 試験場所
1次試験は青森市内を予定（後日通知します）。
- 申込受付期間
平成28年5月30日（月）～6月10日（金） 午前8時15分～午後5時（土日を除く）
※郵送の場合は6月10日（金）必着
- 受験申込書等
受験申込書等は総務課人事行政班で配付するほか、町のホームページからもダウンロードできます。
鶴田町ホームページ【<http://www.town.tsuruta.aomori.jp/>】
- 申し込み・問い合わせ先
鶴田町役場 総務課 人事行政班 TEL：0173（22）2111（内線272）

